

数学科（数学Ⅱ）学習指導案					
日 時	平成30年 6月12日（火）第1時限		指導者	岩村 崇	
学年・組	2年2組		場 所	124教室	
単 元	第4章 三角関数		教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）	
指導目標	三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円や直線を境界線とする領域を図示し、考察することができるようにする。また、式の見方や扱い方の多面性を知り、既習事項と関連付けることで興味・関心をもたせる。	指導計画	第1節 三角関数 1 角の拡張 2時間 2 三角関数 2時間 3 三角関数のグラフ 2時間 4 三角関数の性質 1時間 5 三角関数の応用 3時間 （本時はその2時間目）		
本時の 指導 過程 の 展開 導 開 程	主 題	三角関数を含む方程式・不等式の解法			
	目 標	1 単位円を利用し、三角方程式・不等式を正しく解けるようにする。 2 座標平面を用いて解を求める方法を考察し、それを応用する力を養う。			
	課 題	復習プリントを解いてくる。			
		学 習 活 動	時間	指導上の留意事項	
				資料、評価規準等	
	導 入	本時の主題の確認	5	<ul style="list-style-type: none"> 三角方程式、不等式に関する既習事項を確認し、本時の目標を認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> プリント パソコン プロジェクター
	展 開	1 三角方程式・不等式の解を求める。 (1) 1次方程式・不等式 (2) 2次方程式・不等式	10	<ul style="list-style-type: none"> 単位円を利用し、適切な角の値、および範囲を求められるようにする。 1次式の積に因数分解することが解法の基本であることを理解させる。 	【評価規準と評価方法】 ○定義域に注意して解を求められているか。 〈知識・理解〉 ○相互関係の公式を用いて、正しく式変形できているか。 〈数学的な技能〉
導 過	2 座標平面を利用する。 (1) 不等式の表す領域 (2) 直線がx軸の正の部分とのなす角	10	<ul style="list-style-type: none"> $\sin \theta$ をy, $\cos \theta$ をxと置き換え、直線の方程式として扱うことを認識させる。 	○方程式・不等式を直線を境界線とする領域で考察する考え方が理解できているか。 〈数学的な見方や考え方〉	
開 程	3 三角方程式・不等式の解を境界線、領域を利用して求める。	20	<ul style="list-style-type: none"> 単位円と領域の共通部分に対応するθを求めることを理解させる。 	○座標平面の利用により、単純に手際よく解を求める有効性に気付いているか。 〈関心・意欲・態度〉	
整 理	本時のまとめと次時の学習内容の確認	5	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめ、整理させる。 		
備 考	普通科 III類型 生徒数38名				